

せ かい おん がく まな 世界の音楽を学ぼう	年 組 番
	名前

☆アジア (p.55~56) の国々の楽器を調べて記入しましょう。

インド：	中国：
モンゴル：	朝鮮半島：

☆これらの楽器は、どのような日本や世界の楽器と似ていますか。

☆アフリカ (p.57~58) の大西洋側 (西アフリカ) で使われる打楽器を調べて記入しましょう。

☆この楽器はどのような目的で使われたのでしょうか。

☆ヨーロッパ (p.59~60) をみて、次の曲の舞台となった国を調べて記入しましょう。

ほたるの光：

☆次の作曲家はどこの人でしょうか。国名を調べて記入しましょう。

ベートーベン： モーツァルト：

☆ベートーベン・モーツァルトの曲を調べて記入しましょう。

ベートーベン： モーツァルト：

☆南アメリカ (p.61~62) をみて、ブラジル・アルゼンチンを代表する踊りのイラストを調べて記入しましょう。

ブラジル： アルゼンチン：

☆ブラジル・アルゼンチンの国のようすについて調べてまとめましょう。

ブラジル

アルゼンチン

☆アメリカ合衆国 (p.63~64) をみて、ペンシルベニア州出身の作曲家を調べて記入しましょう。

☆アフリカ系アメリカ人の間で生まれたキリスト教の音楽で、ジョージア州にイラストがある音楽を調べて記入しましょう。

☆アメリカ合衆国で生まれた音楽で、ピアノ、ドラム、サクソ、コントラバスなどを使う音楽を調べて記入しましょう。(イラストにサクソが描かれています)

☆ミシシッピ州のあたりを舞台にしてつくられた曲の名前を調べて記入しましょう。

☆世界の音楽を調べて気づいたことや感想を記入しましょう。

音楽で地図活用 5年・6年 世界の音楽を学ぼう 解説

1. 音楽の教科書から

音楽の教科書には「世界の国々の楽器」「世界の音楽」「世界の踊り」等、その国の特徴を示すものが数多く掲載されています。楽器などでは、日本の楽器と形や用途が似ているものや、その国の暮らしに密着しているものなどがあり、地図帳を活用することで背景の理解により役立つことも考えられます。ここでは『楽しく学ぶ小学生の地図帳 最新版』（以下、地図帳）を使って調べながら、「世界の音楽」を学べるようにワークシートを考えました。

2. 地域ごとに調べてワークシートに記入

このワークシートでは地域ごと（アジア・ヨーロッパなど）に調べて記入するようにしました。教科書により、掲載の有無はあるでしょうが、地図帳に掲載されているものを確認することで、その地域の特徴などにもふれることができます。

アジアの国々では、日本の楽器との関連や、物語などに登場する馬頭琴など、子どもたちにもなじみのものがあります。演奏している人の服装などにも着目して、近隣の国々のようすを学ぶこともできます。

アフリカではトーキングドラムが掲載されています。教科書に解説があるものもあります。「トーキング」の意味を考えさせることで、理解も深まると思います。

ヨーロッパの国々では、ほたるの光が掲載されています。また、たとえばベートーベンの「トルコ行進曲」とモーツァルトの「ホルン協奏曲」は、鑑賞教材としてすぐれた曲です。なじみの

ある曲なので、ぜひ曲を流しながら、学習を進めてほしいと思います。

南アメリカではリオのカーニバルとタンゴが掲載されています。映像などを見ながら学習を進めると印象に残ると思われます。また、サッカーなどでも強豪国として知られている国なので、国の特徴として合わせて押さえておくといでしょう。

アメリカ合衆国ではフォスター、ゴスペル、ジャズ、聖者の行進を取り上げました。ゴスペルやジャズについては教科書によって記述があるものもあります。曲を流しながら、それぞれの特徴や、曲に込められた思い、などについて確認するとよいでしょう。

3. 地図帳を使うことのメリット

社会科に限らず、どの教科でも地図帳を使うことで、その国や地域の理解は深まります。農作物や工業製品、物語、動物、遺跡、建造物など、地図帳には子どもたちの興味をひくものがたくさんあります。それらを見つけるだけでも見方は広がりますが、関連付けて考えることで、「点から面」への理解につながります。

音楽の授業で地図帳を使う場合には、ぜひその音楽の背景にもふれて、人々の思いや生活習慣といったように視野を広げて学習ができるようにしていきたいものです。今回調べたり、曲を聴いたりすることでさらに興味を持ち、自分から進んでその音楽について調べたり聴いたりするようになるとうれしいですね。

せ かい おん がく まな 世界の音楽を学ぼう	年 組 番 名前
---	-----------------------

☆アジア (p.55~56) の国々の楽器を調べて記入しましょう。
 インド：シタール 中国：二胡
 モンゴル：馬頭琴 朝鮮半島：カヤグム

☆これらの楽器は、どのような日本や世界の楽器と似ていますか。
 シタールはギター、カヤグムは琴、馬頭琴や二胡はバイオリンなどに似ている。

☆アフリカ (p.57~58) の大西洋側 (西アフリカ) で使われる打楽器を調べて記入しましょう。
トーキングドラム

☆この楽器はどのような目的で使われたでしょうか。
 音の高さの違いを利用して、話し言葉をまねるようにして打ち、遠くの人と連絡を取る。

☆ヨーロッパ (p.59~60) をみて、次の曲の舞台となった国を調べて記入しましょう。
ほたるの光： イギリス

☆次の作曲家はどこの人でしょうか。国名を調べて記入しましょう。
ベートーベン：ドイツ
モーツァルト：オーストリア

☆ベートーベン・モーツァルトの曲を調べて記入しましょう。
ベートーベン：トルコ行進曲 ほか
モーツァルト：ホルン協奏曲 ほか

☆南アメリカ (p.61~62) をみて、ブラジル・アルゼンチンを代表する踊りのイラストを調べて記入しましょう。
ブラジル：リオのカーニバル
アルゼンチン：タンゴ

☆ブラジル・アルゼンチンの国のようすについて調べてまとめましょう。
ブラジル
 鉄鉱石などの資源が豊富で、アマゾン川流域には熱帯林が広がっている。コーヒーや大豆などの産地でもある。
アルゼンチン
 とうもろこしや牛肉の産地で、西部にはアンデス山脈がある。

☆アメリカ合衆国 (p.63~64) をみて、ペンシルベニア州出身の作曲家を調べて記入しましょう。
フォスター

☆アフリカ系アメリカ人の間で生まれたキリスト教の音楽で、ジョージア州にイラストがある音楽を調べて記入しましょう。
ゴスペル

☆アメリカ合衆国で生まれた音楽で、ピアノ、ドラム、サクソフーン、コントラバスなどを使う音楽を調べて記入しましょう。(イラストにサクソフーンが描かれています)
ジャズ

☆ミシシッピ州のあたりを舞台にしてつくられた曲の名前を調べて記入しましょう。
聖者の行進